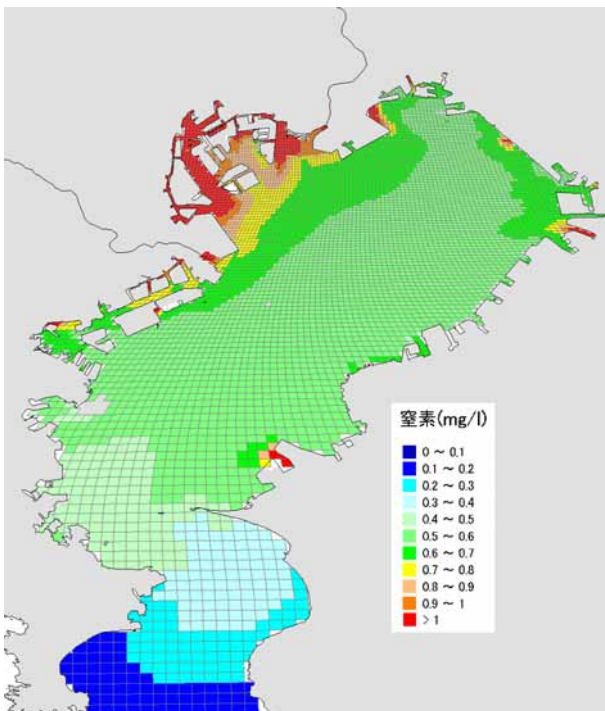
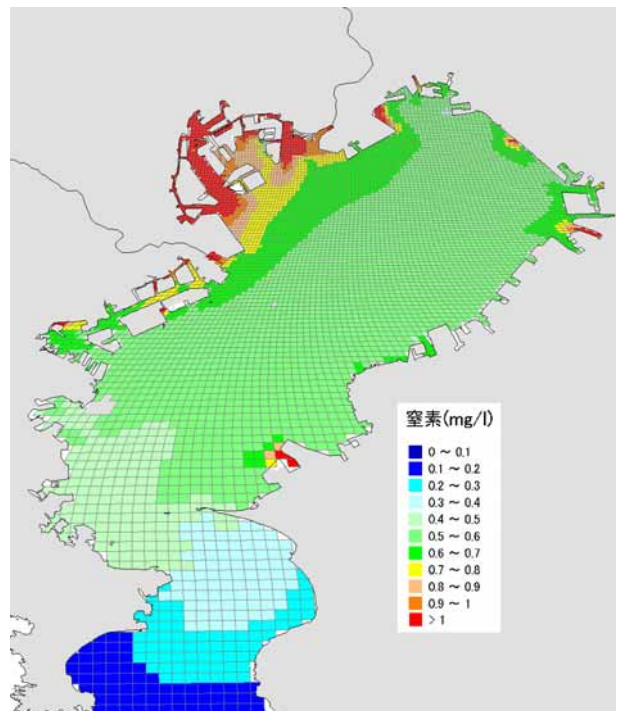


(1) 平成 11 年度現況再現



(2) 汚濁負荷量 30%削減



(3) 汚濁負荷量 30%削減 + 干潟再生

備考)「汚濁負荷量 30%削減」とは、COD、窒素及び燐に係る汚濁負荷量のそれぞれを 30%削減する場合を意味している。

図 3 3 シミュレーション結果 (窒素濃度年平均値)